

道路の安全性・信頼性の確保

快適なドライブをサポートするために、道路情報サービスも充実しています。

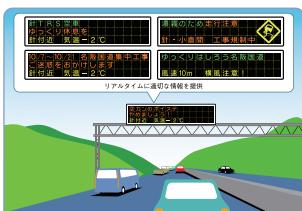
■気象観測システム(雪害対策支援凍結予測システム)

- 全線の路側に設置した各種気象センサにより、著しい冬期の気象変化を監視し、迅速な対応を行うとともに気象の影響による路面変化をドライバーへすぐに提供します。



■道路情報板高度化システム

- 道路、気象、路面状況、SAの駐車場、啓蒙など、事務所で収集される様々な情報を、道路情報板でリアルタイムに提供し、ドライバーの安全で安心できる走行を支援します。



■CCTV(道路監視用カメラ)

- 24時間体制で道路監視用カメラ(CCTV: Closed Circuit TeleVision)による道路状況(路面状態やトンネル、橋梁等の重要構造物)の監視を行っています。



■追突警報システム

- 道路上に設置されたCCTV(道路監視用カメラ)の映像とともに、道路で発生する渋滞、停止等の事象を検出し、検出事象をドライバーに追突警報表示装置にてリアルタイムで提供しています。



■ETC2.0(ITSスポット)

- ETC2.0では、通信アンテナ「ITSスポット」とETC2.0対応車載器、カーナビが、高速大容量のDSRC通信方式によって双方向通信を行っています。収集した数多くの車両の走行履歴情報をフルに活用し、道路情報や安全運転支援情報支援など、高度で多彩なサービスが提供されます。

■トラフィックカウンター

- 設置地点において通過する車両数を自動的に計測するための観測機器であり、計測されたデータは、道路の計画、建設、維持修繕その他の管理等に活用しています。



■安全で快適な走行の確保

- 道路を常時良好な状況に保つため、道路パトロールを実施し、傷んだ箇所の修繕や構造物の補修、清掃、除草、また、照明灯などの安全施設の点検・修理を行っています。さらに、災害箇所の復旧、冬期の路面凍結防止剤の散布や除雪など、道路の管理に努めています。

■事前通行規制

- 事前通行規制とは、大雨などの異常気象時に、事前に設定した基準の雨量に達した段階で通行規制を実施し、法面崩落などの災害にともなう事故を未然に防ぐため、道路の通行を一時的に規制する区間をあらかじめ定めたものです。名阪国道においては、関IC～伊賀ICの14.1kmで連続雨量230mm、五月橋IC～天理東ICの29.6kmで連続雨量160mmを超えると通行止めを行い、最近では平成25年度、26年度、令和元年度に各1回ずつ、平成29年度に2回行っています。



[北勢国道事務所]

■道路状況

<https://www.cbr.mlit.go.jp/hokusei/traffic/>

■公式Twitter
@mlit_hokusei



公式Twitter

道路状況

[奈良国道事務所]

■公式Twitter
@mlit_narakoku



■消融雪設備

- 標高が高く急勾配のトンネル付近で発生しやすいスタック車両の対策として、路面の雪を塩水で溶かす消融雪設備を設置しています。

国土交通省 北勢国道事務所

中部地方整備局 [四日市庁舎] 〒510-8013 三重県四日市市南富田町4番6号 Tel.059-363-5511(代)
[龜山庁舎／管理課] 〒519-0165 三重県龜山市野村4丁目3番25号 Tel.0595-82-1312
<https://www.cbr.mlit.go.jp/hokusei/>

国土交通省 奈良国道事務所

近畿地方整備局 〒630-8115 奈良県奈良市大宮町3丁目5番11号 Tel.0742-33-1391(代)
<https://www.kkr.mlit.go.jp/nara/>



道路施設の損傷、路面の汚れ(油・土砂)、路面の穴ぼこ、落下物など。

道路の異状を発見したらご一報ください。

緊急通報 #9910へ

※高速道路については、道路名、進行方向、キロポスト、周辺の施設名等をご確認いただきますようお願いします。

※道路交通法により運転中の通話は禁止されています。安全な場所に停車しておかけください。